

はじめに

教育委員会では、文京区教育ビジョン「個が輝き共に生きる文京の教育」の実現を目指し、様々な教育施策を展開しております。また、本区の教育の施策全体の方向性を示す「文京区教育委員会教育指針」を策定し、毎年度、推進すべき施策を「主要施策」として定め、着実に取組を推進しております。

新型コロナウイルス感染症に伴う教育活動の制限が緩和され、子どもたちは、宿泊行事などで自然や文化に触れ、多くの笑顔とともに、ひとまわり大きく成長した姿を見せてくれています。引き続き様々な体験活動等をとおして、充実した学校生活を送れるよう、取り組んでまいります。

教育委員会では、社会のデジタル化の急速な進展の中で、子どもたちが自らの手で未来を切り拓く力を身に付けられるよう取組を進めています。また、学校では、Society5.0時代の到来を見据え、1人1台配備したタブレット端末を日常的に使う中で、デジタル教科書や各種アプリケーションソフトを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を行っております。ICTを活用した教育を更に進めるため、今年度、専門的な支援員配置の拡充を図りました。あわせて情報モラル教育を推進し、情報社会の中で活躍できる力を培ってまいります。

加えて、国際社会で必要とされる英語によるコミュニケーション能力を育成するため、児童・生徒が授業以外でも外国人英語指導員とコミュニケーションをとる機会を増やすとともに、小学校高学年の英語検定試験の受験費用補助を拡充し、その結果に基づいた授業改善を行ってまいります。

このほか、不登校への対応として、モデル校7校において、学級に馴染めないと感じている児童・生徒の居場所を学校内につくり、指導員による支援を行うとともに、NPOと連携して、オンラインシステムを活用した支援を進めてまいります。

教育環境の面では、誠之、明化、柳町の各小学校において、校舎の老朽化に伴う改築工事を行うとともに、小日向台町小学校改築の設計を進め、千駄木小学校では引き続き改築に向けた検討を行っていきます。また、年少人口増加等に対応するため、教室の増設工事を確実に行ってまいります。

次代を担う子どもたちが、安全安心に過ごせる学校づくりはもちろんのこと、子ども一人ひとりが心身ともに健やかで、人間性豊かに、逞しく生きる力を身に付けられるよう、今後とも全力で取り組んでまいります。

この「令和5年版教育概要」は、主として令和4年度の教育施策の実績と5年度の新たな取組をまとめたものです。この冊子をご一読いただき、引き続き教育行政へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年9月

文京区教育委員会
教育長 加藤 裕一